

平和と登山のページ (2017年5月)

平和と登山委員会 文責：大西清見 (泉州勤労者山岳会)

第39回戦跡ハイキング 広島・大久野島(瀬戸内海)への旅

青春18キップを使って広島・大久野島に行ってきました。3月31日(金)、大阪府連の各会から11名が大阪駅に集合、JR山陽本線を新快速・普通列車を乗り継いで約5時間で大竹市の忠海駅へ。忠海港で大久野島の戦跡ガイドをお願いした山内正之氏(元広島県立高校教諭)と合流、フェリーで大久野島に渡りました。午後2時半頃から約2時間の雨の中の巡検となりましたが、11名は山内氏の熱心な説明に聞き入っていました。毒ガス資料館、旧軍発電場跡と歩き、山内氏の「日中戦争が始まると毒ガス生産量が急増され、中国戦線で大量に使用されていた。中国との戦争で毒ガス作戦の回数は2,000回以上、その死傷者は8万人を超えると」と話され、今の日本人の大半はこの史実を知らないことが残念ですと仰っていました。今回の私たちも大久野島の残された戦跡や資料から平和についてもっと考えていかなければと決意したのでした。

この日の午後は雨、船着き場の気温も6度を表示、持参した防寒具でもみんな震えていました。夕食は国民休暇村のレストランでバイキング、テントは強風のキャンプ場を回避してフェリー待合所横に張りました。幕営は3班に分かれ、長い鉄道の旅で疲れていたのか、それぞれ午後8時半ごろには就寝となりました。

4月1日(土)午前5時起床、朝から晴れてフェリー出発まで時間がたっぷりあるので島を周遊することに。最高峰の展望台に砲台跡、毒ガス貯蔵庫跡など戦時中の遺跡に見所がいっぱいありました。また島も自然が一面に残され、フサアカシアも満開で黄色い花がブドウの房のようについていました。ところどころのミツバツツジやヤブツバキも見ごろでした。野鳥も観察の絶好の季節のようで、野鳥に詳しい中筋さんの野鳥の解説も島の旅を盛り上げていました。次回は是非ゆっくり自然巡りを楽しみたいものです。

午前9時半には対岸の忠海へ、ザックをロッカーに預け黒滝山に登りました。黒滝山は低山(4266m)ですが、山頂からの眺望は素晴らしく地元の人には人気の山です。頂上まで観音堂や33体の石仏に触れながら、ゆっくり歩いて約1時間、山頂からみんなで芸予諸島の島々をいつまでも眺めていたのでした。山でも自然や二日間の思い出を語り合うのも旅の楽しさであります。下山後は地元の人気の食堂(日之出食堂)でお造り定食を食べ、忠海からまた普通列車・新快速で5時間もかけ、午後7時半には帰阪しました。参加者誰もが笑顔で語り合った有意義な楽しい二日間の大久野島の旅を終えることができました。

(大西清見)

《参加者》 吹田(中筋、河本、江川)、福島(日置、本多)、こもれば(足立、小林) 豊中(南埜)、KONK(井上)、きたろう(清水)、泉州(大西) 計11名

《日程（記録：河本）》 3月31日（金）～4月1日（土）

3月31日（金）雨

11：54 JR忠海駅着、集合した後、全員でスーパーにて買い物、徒歩で忠海港へ移動
14：05 フェリーにて大久野島へ 14：20 大久野島着
14：35～16：20 荷物をデポ後、ガイドの山内さんの案内で毒ガス資料館へ
竹原市のビデオ観賞後は展示品の解説があり、その後、研究室跡や発電場跡での解説
17：30～18：45 食事 19：00 テント設営 20：30～就寝

4月1日（土）晴れ

5：00 起床、朝食、テント撤収
6：10 荷物をデポして展望台や砲台跡等、島内をぐるり1週散策
8：00 休暇村着 解散 9：00 フェリー待合所で集合 9：20 フェリーにて忠海港へ
9：35 忠海港着 9：45 荷物を預けて黒滝山へ出発
10：50 黒滝山山頂へ、山頂にて記念撮影後、山頂広場に移動、その後下山
12：15 日之出食堂到着、昼食 13：00 全員で酒屋さんへ 13：40 忠海駅着
14：18 呉線三原行きに乗車 19：28 大阪駅着、中央改札口にてテントの返却後、解散

《参加者の感想》

南楚知代（豊中労山）

広島原爆投下については世界に知れ渡っている。しかし同じ広島県の大久野島で大戦中毒ガスが製造されていたことはほとんど知られていない。恥ずかしながら私も比較的最近になって知ったのである。これは私の不勉強の致すところであるが、それだけでは済まされない、知らされなかったと言えるかも。ガイドの解説によると国際条約で禁止されていた毒ガス製造が日本で行われていたというので第2次大戦終結後の東京裁判で裁かれるはずであったが直前にそれが中止となった。当時の欧米諸国の事情や東西冷戦等の国際情勢にも関わることもあり占領軍から中止の命令がなされたということだ。それは日本の為政者にとっても好都合であったのだろう。その後1984年アメリカの国立公文書館で決定的な証拠によって露見するまで日本政府も黙り通していたのだ。実に39年間である。毒ガス製造をさせられた人々の中で、当時既に1000人の死亡者がいた。生存者でも皮膚、呼吸器等を患い、また癌患者も多くいて後遺症に悩んだようだ。その人たちは戦後の約40年間も、つらい体験も公表できず、障害のことも言えずに苦しんだであろう。毒ガス製造や、大久野島の地図抹消も許されざる事ではあるが、戦後徹底的に都合の悪い事実を秘匿した為政者の態度もやはり許されざるべき事である。今森友問題で土地代金のことをめぐっても、さかんに不都合なことを隠そうとしているようだ。もし今隠し通せたとしてもいずれ長い歴史の中で解明されるだろう。しかし土地や金は後で取り返せるかも知れないが、生命に関わることは後でどうにかできる問題ではない。2度とこのようなことが起きる世の中にしてはいけない。最後にこの企画をしてくださった大西様、大変ありがとうございました。

清水彩雲（きたろうH.C）

地形図から消された島（戦跡ハイク）の旅

外国人にたいへん人気があるウサギランド。テレビで見た記憶がある！なかなか面白そう♪。ある日、会報の戦跡ハイクに目をつけた。なんと地図から消された島と書かれているのではないか。好奇心から芽生えた衝動行動全開(笑)、という事でツアーを申し込んだ！

まったく知らないメンバーとの交流ですが、慣れっこの私はいつもの通り清々しい顔で集合場所へ向かう！どんな方が参加するのかなあ？まるでコンバに行く気分です♪初めて青春18切符を利用するという事で団体行動力を求められる。乗継もあるし、初回にしてかなり緊張感があり、気分も高ぶる。しかも知らない方ばかりで内心ドキドキながら必死で追いつく。当日の天気予報では雨⇒曇り・・・回復の見込みですが。忠海駅に着くなり雨粒がどんどん大きくなり・・・気温もどんどん下がりフェリーを待つ間に持ってきた衣類を全部着こんでも寒い。これからどうなるやら・・・。

14時頃、解説ガイドさんと合流後、夢の「大久野島」へ。いよいよ毒ガス製造の秘密基地へ突入！！今はウサギの聖地とか楽園と謳歌されていますが、大きな負の歴史背景も背負っている事は忘れてはいけません。何故、こんな惨い事をするだろうね？？？約2時間ほどの社会見学はあっというまに終了。急いでキャンプ場に戻り、今宵の宿を建てなくちゃ、冷え切った体の為にホテルに変更しようという案もあったが生憎空きがないとの事で予定通り設営！休暇村でディナーを頂いた後は極楽温泉タイム！朝、6時に撤収完了後、島めぐりハイク。昨日聞いた内容を思い出しながら島を一周。山つつじ等も綺麗に咲いています。暖かな朝陽に元気を頂いた！9時過ぎのフェリーに乗って忠海へ戻り、不要な荷物をロッカーへ。一行は黒滝山へハイキング！標高はそれ程高くないが展望がよい！観音様巡りコースも面白そう。乃木將軍様が座った石も観光名所の一つ。忠海駅にはほとんど荷もない。紹介して頂いた「日の出」という店で頂いたランチはとても美味しかった。食後、のんびりローカル電車に揺れながら帰途へ。慌しく思う旅ですが、中身は思ったより濃厚です。私好みのハイク旅でした！大西リーダーはじめ、メンバーの皆様さま、大変お世話になりました。



発電場跡で説明して下さる山内氏



しっかり保存されていた毒ガス貯蔵庫跡

中筋好子（吹田労山）

天気予報どおりの風雨の中、来て頂いた山内ガイドの案内で先ず毒ガス資料館へ。住民を騙して造られた製造工場での作業中の被災から、処分後今も続いている毒ガスの被害を展示や映像で知ることが出来ました。被災者に冷たい国の対応には腹立たしい限りです。雨を避けて待合室の前に設営したテントの周囲では深夜の不気味な音で目が醒め、眠れませんでした。翌朝は天気が回復、島内散策やウサギの相手の後、展望の良い忠海町の黒滝山で瀬戸内海の風景を楽しみ、電車で長い帰途に。充実の二日間でした。

井上真由美（北大阪のぼろう会）

大久野島 戦跡ハイキングに参加して

大久野島は一度行って見たかった島でした。過去には禁止されていた毒ガス兵器を秘密に製造していましたが、今ではうさぎがたくさんいるのどかな国民休暇村で海外の方にも

大人気です。竹原市忠海の黒滝山山頂からは瀬戸内海のすばらしい景色が楽しめ、新鮮でおいしいランチに満足しました。日本で戦争がたまたま起こっていない幸せな時を生きていますが、歴史から学び平和でいつまでも仲間と自由に登山が楽しめる未来を望みます。

足立稔（こもれび）

3月31日～4月1日、大阪労山の戦跡ハイキングに参加、広島県竹原市忠海町大久野島へ。一日目の午後は、元高校教諭の山内正之さんの名ガイドで戦跡を回りました。大久野島は日清・日露戦争勃発という緊張した時代背景の中、1902年、芸予要塞大久野島堡壘が設置され、22門の大砲が北部・中部・南部の砲台跡と弾薬蔵が哀れな姿で実在していました。もっと恐ろしいのが、日本陸軍の毒ガス工場として昭和4年に大久野島に設置されたことです。この毒ガス工場は昭和20年終戦後、米軍により破壊されたそうです。

毒ガス工場でイペリット（びらん性の毒ガス）など各種ガスや信号筒、風船爆弾が製造され、日中戦争が始まると毒ガス生産量も急増し、中国・アジア戦線に使用された。毒ガス使用は国際条約に違反するので、その製造は極秘裏に進められた。大久野島は戦前には「地図から消された島」であり、毒ガス製造や戦争での毒ガス使用の実態は、慎重に秘匿され旧軍関係者以外、日本人は知らされなかったのです。

毒ガス製造のための発電所跡の建物も骨組みだけが残っています。製造に従事させられた5千人には何も知らせず、ゴム製の防毒衣装に完全に覆っていても、隙間から浸透し、皮膚、眼、咽頭を冒され結膜炎、肋膜炎、肺炎などで治療法はなかったとか。毒ガス資料館で遺族など提供の貴重な資料を拝観し、「戦争の悲惨さを、平和のと尊さを、生命の重さを、この歴史を忘れないためにも、二度と再び繰り返さないためにも、いつまでも平和であり続けるためにも」と頂いた資料に訴えられています。核兵器禁止条約での48ヶ国の棄権、反対は悲しい。被爆国として悲しい。共謀罪や憲法改悪を画策する政権に過去の事実を猛省させたい思いです。旅の翌日は快晴に恵まれ、本島に戻り黒滝山に登り美しい自然な瀬戸内海の景色を満喫しました。労山の仲間との交流でも勉強になりました。平和が何よりもまして大切、平和憲法を守りましょう。

平和と登山・学習会

今年も下記の日程で「核兵器廃絶」「平和」について学習会を計画しています。学習講座は平和大行進の取り組み通して「核」「平和」について考えていきます。講師は大阪原水協へ依頼しています。また福島原発訴訟団の報告をピトンの会の菅野さんをお願いし、福島原発問題その後の状況をみんなで情報交換をしたいと思います。労山の会員の皆さん、ぜひ平和の集いにお越しくください。参加費は無料です。

【日時】6月13日（火）午後7時～9時

【場所】大阪労山府連事務所（東成区東小橋2-1-1 Tel：06-6972-2057）

【テーマ】今年の平和大行進の取り組み、福島原発訴訟団の報告

【講師・報告者】大阪原水協・山崎さん（予定）、菅野さん（ピトンの会）